



SARUYAMA
TŌDAI



猿山岬灯台

猿山岬は能登半島の北西側にあり、海拔約 200 メートルの断崖が続く一角に灯台が建っています。

建設に着手したのは大正 8 年、地元住民を人夫とし、資材は灯台直下の崖下に船を着け、海拔約 200 メートルの建設地まで、垂直に近い急斜面を人力で這うようにして担ぎ上げられ、工事は難航を極め、大正 9 年 1 1 月に点灯しました。

3 月下旬から 4 月初めにかけては雪割草やスミレなどの可憐な花が見られます。

灯台からは自然歩道「のと猿山雪割草のみち」(3.4 キロ)が続いており、能登半島の素朴な自然美を堪能でき、外浦特有の断崖は絶景です。